

令和8年度当初予算知事審査における主要な議論

(産業労働部)

■ 「渋沢MIX」イノベーション創出支援事業 (P15)

- 知事 渋沢MIXについて現時点でどのように評価しているか。
- 担当部局 渋沢MIXは昨年7月末にオープンし、会員540者程度、利用者は6,000人を超え、事業は順調に進行している。一方、今後は企業間のマッチングを強化していく必要があると考えている。
- 知事 働きかけが不十分ということか。
- 担当部局 専門人材の活用について、会員への働きかけが十分にできていない。専門人材が認知されていないという点と、会員に専門人材の存在を知らせる取組がまだ十分でないという点が課題と考えている。

■ 来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業 (P32)

- 担当部局 商業施設の立地としてはこの上ない環境にあり、年間36万人の来店者を見込んでいる。これまでにない規模で県産品を知ってもらう機会を提供できると考えている。
- 知事 了解した。まずはやってみて効果をみていく必要がある。

■ 多様な人材と県内企業の架け橋事業 (P74、77)

- 知事 シニア人材の確保について、現在取り組んでいる事業の評価と課題は。
- 担当部局 昨年7月に「シニア人材バンク」を開設し、シニアや企業の方の登録は進んでいるものの、マッチング件数は少ない。新たにコンシェルジュを配置し、双方のニーズを捉えることで効果的なマッチングにつなげていきたい。
- 知事 若者と県内中小企業のマッチング機会の創出のうち、インターンシップ等受入企業の支援の目的は何か。
- 担当部局 若者が安心してインターンシップに参加できるよう受入企業

の職場環境を整えることが主な目的である。企業支援員を派遣し、制度や法令の周知のほか、職場環境の整備についての助言を行う。

知 事 若者と企業とを結びつけて、インターンシップ等参加者の増加を図るのはわかるが、セミナーによる周知はまだしも企業支援員まで派遣する必要性が不明確である。

■ 高等技術専門校訓練等推進事業費（P87）

担当部局 技能甲子園（仮称）の開催に当たっては、教育局と連携し高校生や中学生の参加を促すとともに、県内企業とも連携し、観客としての来場を促すほか、広報面でも協力を依頼する。また、こども向けものづくり体験コーナーや訓練生と企業等のコミュニケーションスペースの設置に加え、県内企業の紹介ブースや紹介VTRの上映など、企業の協賛を得られる内容とすることで、入校生と企業の双方にメリットをもたらす取組を実施する。こうした取組を通じて、来場者2,000人以上を目指していきたい。

知 事 了解した。ニーズはあると思うので、なるべく多くの人に来てもらえるように企業や事業者団体とどのように連携するかが重要である。

令和 8年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：渋沢M I X担当
 内線：3787

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P15	「渋沢M I X」イノベーション創出支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	新事業創出支援事業費	
事業期間	令和6年度～ 令和10年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 稼げる力の向上 1102 変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援	SDGsゴール SDGsターゲット	4, 8, 9 4-4, 8-2, 8-3, 9-5
1 事業概要	様々な業種や規模の企業や起業家等の交流・マッチングによりイノベーションを創出する拠点である「渋沢M I X」の運営・管理を行うとともに、セミナーや交流会等のイベントの企画・実施、広報を行う。 また、オープンイノベーションの創出やスタートアップ支援、イノベーション人材育成のためのプログラムを実施する。 ア 施設運営費等(債務負担行為) 177,251千円 イ 施設運営費等 12,261千円 ウ オープンイノベーションの創出・促進 161,600千円 エ スタートアップの創出・成長支援 75,000千円 オ イノベーションを担う人材の育成 7,325千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 施設運営費等(債務負担行為) 177,251千円 イ 施設運営費等 12,261千円 ・施設の運営・管理、イベントの企画・実施、広報 ・戦略の策定 ウ オープンイノベーションの創出・促進 161,600千円 ・企業同士をマッチングし、共創のためのプログラムの実施 ・県内企業のビジネス展開に向けた海外連携促進 エ スタートアップの創出・成長支援 75,000千円 ・スタートアップの創出・成長支援のためのプログラムの実施 オ イノベーションを担う人材の育成 7,325千円 ・学生向け起業伴走プログラムの実施 ・大学間ネットワーク会議の運営 (2) 事業計画 ・令和6年度 施設開設に向けた準備及び開設後の活用促進に向けたイベントの実施 ・令和7年度 施設の開設、管理運営及びイノベーション創出を支援する各種プログラムの実施 ・令和8年度 施設の管理運営及びイノベーション創出を支援する各種プログラム等の実施 戦略策定、海外連携体制の強化 (3) 事業効果 ・多くのスタートアップが生まれ成長するとともに、数多のイノベーションが創出されることにより、県内経済が活性化している。 ・イノベーションを担う人材が持続的に生まれ、活躍できる環境が整っており、県内経済の更なる発展に寄与している。 【活動指標(アウトプット)】 プログラムやイベントの実施 240回/年 【成果指標(アウトカム)】 イベント参加者等の施設利用者数 30,000人(令和10年度末)					
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ 【内閣府】地域未来交付金 (県10/10)、(国1/2・県1/2) ウ～オ 【内閣府】地域未来交付金 (国1/2・県1/2)								
3 地方財政措置の状況	普通交付税措置(単位費用)(款)地域振興費(細目)地域振興費(細節)地域振興共通経費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	人件費(既存分)9,500千円×4.0人=38,000千円 人件費(増員分)9,500千円×2.0人=19,000千円 組織の新設・改廃 なし								
予算額		財源内訳			一般財源		前年との対比		
決定額	433,437	国庫支出金	125,462	寄附金	400			307,575	38,065
前年額	395,372		111,177		5,100			279,095	

令和 8年度予算見積調書

課室名：観光課
 担当名：総務・物産・民泊担当
 内線：3950

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P57	来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業			一般会計	商工費	商工業費	販路拡張費	物産観光展示場運営助成費		
事業期間	令和 8年度～ 令和10年度	根拠法令	なし			針路 分野施策	08 0802	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsゴール SDGsターゲット	8 8-9
1 事業概要	<p>J R東日本クロスステーションが大宮駅東西連絡通路中央付近に地域の物産販売・観光情報発信拠点を整備することに伴い、その一画に埼玉物産ブースを開設する。 全体を一体的に運営するJ R東日本クロスステーションと県で協定を締結し、連携して埼玉物産ブースを運営することで県産品の認知の向上を図るとともに販売拡大を促進する。</p> <p>来た！見た！買った！「埼玉みやげ」大宮駅販売拠点新設事業 57,567千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア J R東日本クロスステーションが整備する地域の物産販売・観光情報発信拠点に埼玉みやげブースを開設する。 イ 来店者数・性別・年齢等を検知し、行動を分析するなどマーケティング調査を実施する。 ウ 埼玉みやげブースに併設されるイベントスペースを活用し、埼玉の魅力を発信するイベントを実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 埼玉みやげの展示・販売 31,867千円 駅構内に整備される地域の物産販売・観光情報発信拠点に埼玉みやげをPRする埼玉物産コーナーを開設する。 イ マーケティング調査 500千円 来店者の性別・年代を検知し、行動を分析 ウ イベント等PR事業 25,200千円 (7) 埼玉みやげブースに併設されるイベントスペース活用 ・埼玉の四季折々の魅力を発信するイベント ・市町村の魅力を発信するイベント ・新商品アワード受賞商品販売イベント (4) 店舗オープンに係る宣伝・広告</p> <p>(3) 事業効果 県産品のお土産の売上が向上することで、観光客一人当たりの観光消費額が増加している。 【活動指標(アウトプット)】 ・県産品展示販売テナントの設置 ・マーケティングレポート(半期ごと) ・SNS・WEB広告の配信 6回/年 ・イベントスペースの活用 6回/年 【成果指標(アウトカム)】 ・来店者数 1,000人/日(年間約36.4万人) ・埼玉県産品を「知っている」と答える人(令和9年) 37%(現在23%) ・売上額(令和9年) 378千円/日(年間1.4億円)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (一社)埼玉県物産観光協会、民間企業等と連携して事業を展開する。</p>						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用)(款)商工行政費(細目)観光及び物産振興費(細節)観光及び物産観光費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	(1) 人件費(既存分) 9,500千円×1.0人=9,500千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
決定額	57,567							57,567	57,567	
前年額	0							0		

令和 8年度予算見積調書

課室名：雇用・人材戦略課、就業支援課
 担当名：企画・労働団体担当、若年者支援担当
 内線：4543、4538 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業			
P74	多様な人材と県内企業の架け橋事業		一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	人材確保支援事業費、若者正規雇用化拡大事業費			
P77	(雇用・人材戦略課、就業支援課)									
事業期間	令和8年度～ 令和10年度	根拠法令	労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実に係る法律第5条			針路 分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 0701 就業支援と雇用環境の改善	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-1, 8-3, 8-5, 8-6		
1 事業概要	<p>シニア人材、外国人留学生や若者といった多様な人材と県内企業をつなぐ仕組みを構築することで、人手不足の緩和や経営課題の解決を図ることを目指す。 学生が「埼玉県若者向け総合就職支援サイト」(仮称)を活用して県内企業のインターンシップ等に参加申込できるようにする。あわせて、学生が安心して就業体験ができるよう、インターンシップ等受入れ企業に対するセミナーを行う。</p> <p>ア シニア人材と企業をつなぐ埼玉モデルの推進 49,790千円 イ 県内企業による留学生等外国人材の確保支援 37,060千円 ウ 若者と県内中小企業とのマッチング機会の創出 15,789千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア シニア人材と企業をつなぐ埼玉モデルの推進 49,790千円 (ア)シニア人材バンクを核としたマッチング推進、(イ)シニア人材の更なる開拓、(ウ)シニアを活用する企業の掘り起こし イ 県内企業による留学生等外国人材の確保支援 37,060千円 (ア)県内企業で働く外国人材の確保支援、(イ)留学生インターンシップ制度の構築 ウ 若者と県内中小企業とのマッチング機会の創出 15,789千円 (ア)「埼玉県若者向け総合就職支援サイト」(仮称)の構築、(イ)インターンシップ等受入れ企業向けにセミナーを開催</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア (ア)オンラインマッチングの実施及びコンシェルジュによるマッチング支援、リアルマッチングの実施 (イ)開拓員による人材開拓、シニアセミナーの実施、(ウ)企業セミナーの実施、企業向け成功事例の動画の配信 イ (ア)ポータルサイトの運営・充実、外国人材向けオンデマンド型企業文化講座配信、企業向けオンデマンド型外国人材雇用講座配信、企業向けアドバイザーの派遣 (イ)県内大学に通う留学生を対象に、県内企業でのインターンシップを実施 ウ (ア)就職関連情報の一元化や既存システムの機能強化等により、若者にとって利用しやすいサイトを構築 (イ)企業向けにインターンシップ等導入支援セミナーを開催</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア スキル・ノウハウを持つシニア人材の活躍・活用が、人手不足や経営課題の解決、生産性向上につながる。 【活動指標(アウトプット)】オンラインマッチング 通年、リアルマッチング 3回、シニアセミナー 3回、企業セミナー 4回、動画 6業種 【成果指標(アウトカム)】バンクに登録するシニア人材 250人、バンクに登録する県内中小企業 160社 イ 県内大学に在籍する留学生の希望に沿った県内企業への就職が進み、企業の人手不足の解消につながる。 【活動指標(アウトプット)】企業文化講座 6業種、外国人材雇用講座 6種、アドバイザー派遣 通年、留学生インターンシップ制度の構築 【成果指標(アウトカム)】講座・アドバイザーでノウハウ習得する企業 120社、インターンシップを実施する企業 20社 ウ 若者と県内中小企業とのマッチング機会の創出 【活動指標(アウトプット)】総合就職支援サイトを通じて大学生と県内中小企業をつなぐ仕組みの構築 インターンシップ等導入支援セミナーを開催 2回 【成果指標(アウトカム)】プレ・インターンシップ、インターンシップ等参加者数 延べ450人 プレ・インターンシップ、インターンシップ等参加者の県内企業就職者数 60人(令和10年度末)</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大学や経済団体などと協力して事業を実施する。</p>							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)、(国1/2・県1/2) 【内閣府】地域未来交付金										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既存分) 9,500千円×5.9人=56,050千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし										
予算額		国庫支出金						一般財源	前年との 対比	
決定額	102,639	43,078						59,561	95,600	
前年額	7,039							7,039		

令和 8年度予算見積調書

課室名：産業人材育成課
 担当名：総務・職業訓練推進担当
 内線：4595

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P87	高等技術専門校訓練等推進事業費			一般会計	労働費	職業訓練費	職業訓練校費	技能向上訓練推進費	
事業期間	令和8年度～	根拠法令	職業能力開発促進法第15条の7、第16条			針路	11 稼げる力の向上	SDGsゴール	8
					分野施策	1104 産業人材の確保・育成		SDGsターゲット	8-5, 8-6
1 事業概要	高等技術専門校の存在を広くPRし、地域の産業人材育成拠点としての認知度を向上させる。 社会環境の変化に応じて高等技術専門校の在り方を見直すことで、魅力向上を図る検討を進める。 地域ニーズに応える高技専魅力アップ事業 20,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 地域ニーズに応える高技専魅力アップ事業 20,000千円 (イ) 埼玉技能甲子園(仮称)開催費用 12,000千円 ・高等技術専門校の存在を広くPRし、地域の産業人材育成拠点としての認知度を向上させる。 (イ) コンサルティング業務委託料 8,000千円 ・社会環境の変化に応じて高等技術専門校の在り方を見直すことで、魅力向上を図る検討を進める。 (2) 事業計画 ア 地域ニーズに応える高技専魅力アップ事業 (イ) 埼玉技能甲子園(仮称)の開催(9月予定) (3) 事業効果 ア 学卒・離転職者訓練 (イ) 令和6年度：修了者数317人、就職者(就職中退者を含む)292人、就職率94.0%(うち二・一年コース99.6%) 【活動指標(アウトプット)】 高等技術専門校における人材育成数 令和6年度実績385人 令和5年度実績433人 令和4年度実績462人 【成果指標(アウトカム)】 県内高等技術専門校に入校し、職業訓練により技能等を習得 埼玉技能甲子園(仮称)来場者数2,000人以上 高校生の高技専の認知度向上(現状：令和6年度 5%⇒目標：令和11年度 30%) 企業の在職者訓練の認知度向上(現状：令和6年度 27%⇒目標：令和11年度 50%)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	(1) 人件費(既存分) 9,500千円×3.0人=28,500千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	使用料・手数料	財産収入	諸収入				
決定額	20,000						20,000	20,000	
前年額							0		